

区民と区長のまちづくり懇談会 会議録 [南部地区]

No.	区 民	区 長
豊かな人間性をはぐくむ文化の香り高いまち		
1	<p>【子育て、教育に関する予算について】</p> <p>実施計画改定素案によると、子育て支援に関する予算は44億円から141億円に増額されているが、大切なことなので計画どおりに進めてほしい。学校教育に関する予算は58億円から17億円に極端に減額されたが、主な理由は何か。</p>	<p>東山小学校の改築が今年度中に終了するため、その関係経費が今回の実施計画には計上されず、大幅な予算減額になりました。</p>
2	<p>【区立中学校の統合について】</p> <p>南部・西部地区の中学校の統合は、オリンピック等の建設業への影響などで実施が遅れると聞いているが、どうなるのか。区立小学校の児童数は増えているというが、区立中学校へ進む子が少ない。私立中学校への進学が多いというのは、公立中学校に魅力がないからではないか。魅力を向上させるためにどのように対応するのか。</p> <p>東京都では、中高一貫校があるが、区ではできないのか。</p>	<p>実施計画改定素案に載せていますが、統合方針を平成30年度中に改定し、平成31年度には協議組織を設け、保護者や地域の方々と協議していく予定です。小学校への入学人数は増えていますが、小学校から区立中学校への進学人数は減っており、最近では52～53パーセントの在籍率（※）です。私立校への進学が多いのが、目黒区の特徴ですが、どうすれば小学生やその保護者にとって魅力ある中学校になるか検討しているところです。統合して開校する学校の具体的な魅力づくりについては、これまでの統合校と同様、開校に向けて検討していきます。</p> <p>中高一貫校は、他区で例がありますが、高校は都立になりますので、東京都教育委員会との調整のハードルは高いと考えています。区では、小中連携に力を入れており、小学生に中学校の魅力が伝わるよう努めています。</p> <p>※中学校の「在籍率」とは、中学1～3年生の学齢期に当たる住民登録者数のうち区立中学校に在籍している生徒数の割合をいいます。</p>

No.	区 民	区 長
3	<p>【区立中学校の統合について】 第七中学校、第八中学校、第九中学校、第十一中学校は統廃合が予定されているのに、なぜ第八中学校だけ校庭を人工芝にしたのか。学校を残す予定なのか。</p>	<p>第八中学校の校庭を人工芝にした当時、統廃合の話はなく、区や学校、地域等が話し合い、決定しました。</p>
4	<p>【目黒シティランについて】 ボランティアとして参加予定で、実施を楽しみにしている。 このボランティアには、中高生に参加してもらいたいと考えている。東京でのオリンピック開催時には、大学生くらいの年代になり、ボランティアとして役立ってもらえるのではないかと。 中高生が参加すると、大人の仕事が増えると言われるが、大会の役に立ったという経験は子どもたちの自信につながるのではないかと。公立中学校の生徒に、優先的にボランティア参加してもらってはどうか。</p>	<p>オール目黒で取り組む課題と考えています。ボランティアについては、昨年から区立中学生の参加があり、今年度も参加予定で、教育委員会と調整しながら人選をしているところです。沿道のボランティアは、地域や各団体を通じてお願いし、若い方の参加もあります。これからもボランティア参加を促進していきたいと思えます。</p>
ふれあいと活力のあるまち		
5	<p>【宝くじの収益金事業について】 マンションが増えたことで、まちづくりの観点から、今の町会や自治会には絆づくりが必要である。そのために祭りは非常に大切である。ある区議の政治レポートに、宝くじの収益金の一部を社会貢献事業として助成を受け、目黒区では2件、神輿の修復に使用したとあった。そのようなことに使えるとは知らなかった。どこの町会も神輿が古くなっている。助成があるなら、申請したいのではないかと。広く周知して、絆づくりに役立ててもらいたい。</p>	<p>宝くじの収益金事業につきましては、区は書類の経由事務を行っていますが、周知が足りないというのはご指摘のとおりだと思います。宝くじの収益金は、自治総合センターの助成金としてどう活用できるか、区でも調査、研究していました。今回、町会から相談があった子ども対象のお祭りイベントに使用するの神輿の修復について、試行として申請してみたところ、助成が認められましたので、今夏に全町会・自治会長あてに周知し、相当数の申請をいただいたところです。すべてが認められる訳ではありませんが、実績を重ねながら、さらにどう活用できるか整理していきたいと思えます。</p>

No.	区 民	区 長
6	<p>【コミュニティづくりについて】 「コミュニティ施策の今後の進め方」案の中で、区が行う支援策などの取組として、町会・自治会への加入促進につながるようマンション建設業者や管理業者に対して、地域との窓口となる担当者を設けるよう働きかけていくとあるが、仕組みづくりはできているのか。また、その情報は町会や自治会へフィードバックされるのか知りたい。</p>	<p>先般策定した「コミュニティ施策の今後の進め方」案では、町会・自治会を地域のコミュニティ形成の基礎となる団体と明確に位置付け、活性化に必要な支援を行っていくとしています。</p> <p>ご質問の取組については、町会員の減少を防ぐための支援策の一つとして例示していますが、具体的な内容は今後検討し、ある程度まとまりましたら改めて町会・自治会の皆さんにご報告させていただきます。</p>
環境に配慮した安全で快適なまち		
7	<p>【区道の照明について】 南の交差点から北側へ50メートルほどの所の交差点の照明が暗い。2年前の懇談会で発言した際は、照度不足があるものの対応はできないとの回答であった。照明を取り付けてほしいと考えていた場所は私有地のため付けられないということが理由のようだったが、今回は街灯の位置が変わったので、安全、安心のため、対応してもらいたい。</p>	<p>現地を確認し、精査したいと思います。</p> <p>※後日、現地を確認したところ、2年前は私有地にあった電柱が道路へ移設されていたため、その電柱に街路灯を設置しました。ご意見をくださったご本人にも設置状況を確認していただきました。</p>
8	<p>【行政の対応への感謝、西小山の街づくりについて】 西小山公園の砂地に段差が生じていた場所について、みどりと公園課へ改善を依頼したところ、程なく碑文谷土木公園事務所の職員が対応してくれたことに感謝している。</p> <p>西小山駅周辺地区の街づくりについては、原町一丁目7番・8番地区に再開発の動きがあるが、町会には情報がこない。施設づくりはいつ頃から着手されるのか目処が知りたい。</p>	<p>西小山駅周辺の再開発については、区は土地を持っていませんので、今後、地区の皆さんがどのような街にしたいか考えるにあたり、側面からお手伝いしていくことが必要ではないかと考えています。また、施設整備に当たっては、そこに行政需要があるのか考えていく必要があると思います。</p> <p>再開発は、地権者の方の生活再建に関わりますので慎重に検討を進めており、目処をお伝えするのは難しいところです。機が熟した段階で、皆さんへお示しできると思います。</p>

No.	区 民	区 長
9	<p>【原町一丁目7番・8番地区の開発について】</p> <p>西小山駅が地下化した際、目黒と品川の区境を取り払った街づくりになると聞いていた。しかし、駅前広場は品川区の土地で、目黒区の町会や商店街の行事では使用することはできない。大きなバリアがある。</p> <p>原町一丁目7番・8番地区の街づくりプランには、できるだけ地元の意見を取り入れてほしい。目黒線地下化の際は運賃の値上げがあり、目黒区居住者も当然負担しているが、バリアができてしまったことに対して、目黒区側の住民の不満は残っている。</p>	<p>原町一丁目7番・8番地区は、地権者や周辺の皆さんの意見を伺いながら共同化の検討を進めているところです。</p> <p>区は地権者ではありませんが、西小山が大きく変わるチャンスですので、大事にしたいと考えており、いろいろな面でご意見を伺えればと思っています。</p>
10	<p>【西小山の街づくりについて】</p> <p>西小山駅は、品川区側が表、目黒区側が裏のようなイメージがある。目黒区側が表になるような方針をもって、街づくりを進めていただきたい。</p>	<p>ご意見はしっかり受け止めていきたいと思えます。</p>
その他		
11	<p>【会議室の椅子について】</p> <p>会議で度々利用しているが、総合庁舎2階のA・B・C会議室の椅子が傷んでいて、思いのほか深く沈んでしまう。事故が起きる前に調査、検討してもらいたい。</p>	<p>あらためて点検します。</p> <p>※総合庁舎A・B・C会議室の椅子は、かつて生命保険会社の本社ビルであった時代に設置された椅子を現在も使用していますが、長期間の使用に伴う傷みのほか、除去できない汚れも多く見受けられることから、早期に椅子の入替えを行いたいと考えています。</p>